

令和七年度入学試験問題（前期日程）

国語

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教科教育専攻 を受験する者は、一、二について解答しなさい。

中学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修 を受験する者は、一、二、三、四について解答しなさい。

注意事項

- 一、解答時間は、小学校教育コース 教科教育専攻 を受験する者については八〇分、中学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修 を受験する者については一〇〇分である。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 四、解答は縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

一

次の文章は、フリーライターの「私」が、新米の頃の「間違い」を振り返って語る短編小説の抜粋である。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

(三〇点)

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(森絵都、『異国のおじさんを伴う』、文藝春秋、二〇一四年、八三〜九八ページ、抜粋・一部改変。なお短編小説の題名は、出題内容に関わるために記していない。)

問一 傍線部 a～e の漢字の読み方を書きなさい。

- a 麗しい
- b 雅
- c 必至
- d 目処
- e 一蹴

問二 A には、亀が登場する昔話に出てくる場所を表す語句が入る。その語句を漢字三文字で書きなさい。

問三 傍線部②「でも……」で長崎さんが伝えたかったことや思いを想像し、「でも」の後に言えなかった言葉を考えて書きなさい。

問四 傍線部③「間違い」とはどのような内容か。また、その「間違い」が、傍線部④「悔恨の涙」を流させたのはなぜか。説明しなさい。

問五 この小説は傍線部⑤「——今、思うことは……あの子、元気かしらって。本当に、新しいところでもちゃんと食べていればいいんですけど。」という長崎さんの言葉で結ばれている。この結びが生む表現の効果について説明しなさい。

問六 「他者にインタビューして記事にする」ことをめぐって、傍線部①で示されている先輩の考えに対して、この小説を読み終えたあとあなたはどのように考えますか。百五十文字程度で書きなさい。

非公開

二

次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。(三〇点)

非公開

非公開

非公開

(山極壽一、『共感革命』、河出書房新社、二〇二三年、一九八〜二一〇ページ、抜粋・一部改変)

問一 傍線部 a～e の―を漢字に直しなさい。

- a ツチカ(われる)
- b スイシヨウ
- c キヨコウ
- d クシ
- e ワクセイ

問二 筆者が、傍線部①「共感力を高めるためには一つの場で、みんなで学ぶことが必要だ」と主張するのはなぜか。ここでいう「共感力」がどのようなものを明らかにしたうえで、説明しなさい。

問三 空欄 A に入る適切な言葉を、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 拡散
- イ 加速
- ウ 環流
- エ 停滞

問四 傍線部②「ここにパラドックスが生まれてしまう」について

A 「パラドックス」を用いて表現している諺として適切なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア まかぬ種は生えぬ イ 先んずれば人を制す ウ 負けるが勝ち エ 案ずるより産むが易し

B 傍線部②「ここにパラドックスが生まれてしまう」とはどうか、説明しなさい。

問五 傍線部③「とても危うい世界」とはどのようなものか、説明しなさい。

問六 傍線部④「人間は根源的な問題に対して思考をやめてはいけなしいし、これまでになかったことを考えつかなければならない」ときに、人間の「感情」が担う役割についてのあなたの考えを、「共感」という語を用いて、二五〇字程度で書きなさい。

非公開

三

次の古文は、平敷屋朝敏作『若草物語』の一節である。主人公の小笹露之介は若草という遊女を見初め、恋文を贈ったり若草の家に通ったりして見るものの、なかなか関係が進展しない様子が描かれている。よく読んで、あとの問いに答えなさい。(二四点)

(仲原裕、『翻訳と訳注 平敷屋朝敏作品集』、私家版、一九九四年、三三～四二ページ、抜粋・一部改変)

注 ここは連体形止めの文になっている。

非公開

四

次の漢詩は、平安時代中期の知識人として知られる具平親王が、友人（高階積善）の夢に憧れの唐詩人「白氏」が繰り返し現れたことに感銘を受けて作ったものである。よく読んで、あとの問いに答えなさい。（二六点）

（菅野禮行・徳田武校注、『新編日本古典文学全集 86 日本漢詩集』、小学館、二〇〇二年、一七九ページ、出題箇所以外には適宜訓点を施すなど一部改変）

注 1 詞客——詩文を作る人。

2 沈極底——詩想を深く掘り下げる。

3 造化——自然の道理。

4 中華変雅人相慣——中国で王道が乱れた時代に作られた詩に人々は慣れてしまったが。

5 季葉頽風——末世の頽廢の風潮の中でも。

6 訛——ここでは「あやまつ」と読む。正道が失われること。

7 必誰過——君（友人の高階積善）以上に理解できる者がいるだろうか、いやいな。

問一 この漢詩の中から、押韻している漢字を全て抜き出さない。

問二 傍線部①「未訛」・②「応決理」を全て平仮名で書き下しなさい(この部分の返り点は省いているので、自分で補うこと)。

問三 この漢詩の中から、「白氏」が作詩に臨む際の姿勢を示す表現を二箇所探し、それぞれ五文字以内で抜き出さない(白文のままでもよい)。

問四 この漢詩に詠まれた「白氏」の名を明らかにしたうえで、作者が詩に込めた思いを説明しなさい。

国語 解答用紙 (前期日程)

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 (表面のみ)

中学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修 (両面)

受験番号

得点

一	問一	a うるわ(しい)	b みやび	c ひっし	d めど	e いっしゅう	1点×5
	問二	竜宮城 2点					
	問三	でも、記事は、私がお話したこととは違う内容になっていました。私の思いとは違う話が広く伝えられてしまい、正直とまどっています。他の人にとってはどうでもよいことかもしれませんが、大切な何かが踏みにじられたような思いがして。					4点
	問四	長崎さん自身の言葉を丁寧に聴きとることなく、あらかじめ自分で想定した物語にあてはめて勝手に解釈して記事に仕立ててしまい、長崎さんの真意とはまったく異なる記事を公表してしまったという間違い。長崎さんの亮くんへの思いを踏みにじってしまったが、長崎さんはいまこの世の人ではなく、自分が犯した間違いを謝り、公的に正すこともできない。長崎さんに取り返しのつかないことをしてしまったという申し訳なさと自分の至らなさへの悔いでいっぱいになって、涙を流した。					6点
	問五	長崎さんの言葉の「あの子」とは亮さんのことである。だが、「私」は「あの子」を亀の「カメラ」のことと思いついて記事にした。最後の言葉には、孫と重なる亮くんへの長崎さんの精一杯の思いがこもっており、長崎さんの言葉のなかでいちばん大切な言葉である。その大切な言葉を誤って解釈して伝えてしまった。「私」が犯した「間違い」を最もよく表す一文を末尾に据えることで、「私」の犯した「間違い」の重みをきわだたせ、「私」の悔いの深さを読み手に投げかける効果がある。					6点
	問六	自分の印象をもとに「自分の頭でまとめたおいた文章」にしてしまうと、予め作ったストーリーにあてはめ、都合良く他者の言葉を切り取ってしまう危険性がある。それは、他者の言葉をほんとうに聞いたことにはならない。テープ起こしをしながら他者の言葉を丁寧に聞き取り、伝えたかったことを受けとめようとする姿勢こそ大切である。 (145字)					7点

問一	a 培(おれる) 【1点】	b 推奨 【1点】	c 虚構 【1点】	d 駆使 【1点】	e 惑星 【1点】
問二	<p>心や体を同調させたり共鳴させたりする体験を通して、自分との違いや同じ部分を認識できるようになり、他人と自分との間にある差を埋めようという感情を経験することが、一人ではなく、みんなで助けようという気持ちをもつコンパッションを含んだ共感力を高めることにつながると考えているから。【4点】</p>				
問三	<p>イ【2点】</p>				
問四	<p>A ウ【2点】</p>	<p>B 人間は共感力を高め、どう振る舞えば相手に役立つかを想像できるようになったが、それを相手の役立つ方向ではなく、相手をいじめたり陥れたりするなど悪いことに使える状況が生まれたということ。【3点】</p>			
問五	<p>人間は論理により動く場合と感性や身体で動く場合があり、二つが複雑に交じり合いながら行為を決断してきたが、情報に支配され、人間が機械になり、人間である証拠となる部分も失い、全てが論理に合わせて判断されてしまう世界。【4点】</p>				
問六	<p>生成AIの登場と発展により、便利さを追求するあまり、感情を無視したり合わせて考えないようになつたりするかもしれない。しかし、筆者が指摘するように、共感できる場合と共感できない場合の判断のように、人間は情報のみで判断したり、論理のみで判断したりするわけではない。そうすることで、人間は、堂々巡りの世界ではなく、新しい経験を積み重ね、これまでになかった世界を切り拓いてきた。このことから、感性と同様に、感情は、様々な選択肢について検討して決断するうえで、生成AIにはできない決断を可能にするという大切な役割を担っていると考える。【10点】</p>				

問一	①は「行変格活用の動詞」あり「の連体形で、④は連体詞」ある「である。」			④
問二	ウ	②		
問三	イ	②		
問四	A エ	②	B ア	②
問五	I 笹	②	II 節	②
			III 縁語	③
問六	<p>初めて露之介に会ったときから素敵な人だと思っているのだが、あまり簡単になびいては軽々しい女だと思われそうなので、わざとしねないそぶりをしてる。</p> <p>⑤</p>			

四 (小計16点)

問一	多 歌 波 訛 過 完全2
問二	① いまだあやまたず 2
② まねごととわり(り)も可(を)けつすべし 2	
問三	思任天然 2
心従造化 2	
問四	<p>白居易(白樂天も可)の詩才の素晴らしさと、その名詩人を夢に見るほど尊敬している友人の漢詩への理解の深さを、讀えている。</p> <p style="text-align: right;">人名2+説明4</p>